

「コロンブスの卵」

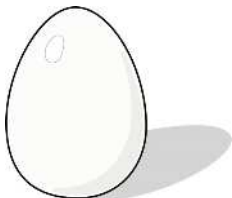
校長 桐野 和之

今年もどうぞよろしくお願ひいたします。

ところで皆さんはコロンブスという人を知っていますか。コロンブスは、イタリアの探検家で、今から524年前(1492年)にアメリカ(北アメリカ)大陸を発見した人です。コロンブスは新大陸発見の英雄とたたえられました。



ところが、新大陸発見をお祝いするパーティーで、「そんなことは、誰にでもできる簡単なことだ」と言ってコロンブスのしたことを認めようとしなかった人がいました。するとコロンブスは卵を取り出し、その人に、「ここに卵があります。この卵をテーブル上に立ててみて下さい」と言いました。その人は、必死になって卵を立てようとしたが、テーブルの上に立てることはできませんでした。いつの間にか、人だかりができ、大勢の人たちが挑戦しましたが、誰もできませんでした。コロンブスは、「ここにお集まりの皆さんのなかには、この卵をテーブルの上に立てることができる人は誰もいませんでした。それでは、私が、皆さんの前で、この卵をテーブルの上に立ててごらんに入れましょう。」と言って、卵のおしりをコツンと少しつぶしてテーブルの上に立てました。「なーんだ、そんなことなら私にだって立てられると思ったことでしょうか、アメリカ大陸の発見もこれと同じです。誰も思いつかなかったことに私は初めて思いつき、実行し、成功したのです。」と、えらぶことなくニコニコ顔で話しました。会場はわれんばかりの拍手に包まれました。そして、「そんなことは誰にでもできる」といった人と固い握手をしたそうです。



この時のことが、「コロンブスの卵」の話として全世界に広がり、500年以上たった今でも語りつがれているのです。「コロンブスの卵」は、簡単そうに見えることでも、初めて思いついたり、初めて見つけたり、初めてつくったりすることは、たいへんなことで、とても価値のあることだと教えてくれているのです。他の人が初めて思いついた簡単なことで、私たちの生活に役立っていることの例をあげてみると、例えば、サンダルの足をつっかけかける部分を、真ん中に太めにつけて、どちらからでも履けるようにした人がいます。脱いでそのままにしておいても、反対側からも履けるのでとても便利です。トイレのサンダルに利用したら、脱ぎっぱなしで良いので、手を汚さずに整頓できるからとても便利です。また、書いたすぐ後は消しゴムで消せるのに、しばらくたつと紙にしみこんで消しゴムで消せなくなる鉛筆を発明した人がいます。誰でも書き間違いをしますから、消しゴムで消すことができ、書き直しができるので便利です。きちんと書き終わったら今度はいつまでもそのままにでき、書き直すことができないので、提出する書類づくりなどに便利です。

このように、私たちの周りにも、ちょっとしたことを工夫すれば、便利になったり、楽しくなったり、困ったことが解決したりすることがあると思います。こんなことがしたい、こういうことを調べてみたいなどと前向きにとらえて、考え、行動することが大切です。そして、初めての簡単な発見、初めての簡単な発明、友だちと仲良くする初めての簡単な工夫などをどんどん見つけて、生活や学習を楽しいものにしましょう。



小中一貫教育研究発表

～大泉学園中学校、大泉学園小学校、大泉学園緑小学校～

大泉学園中学校、大泉学園小学校、大泉学園緑小学校が1つの研究グループとして指定を受け、2年間小中一貫教育研究に取り組んできました。その成果を1月22日（金）に練馬文化センタ小ホールで行われた「練馬区小中一貫教育フォーラム」で発表しました。発表の概要について簡単にお知らせいたします。



研究主題「小・中9年間を見通した授業の創造」のもと、3校の先生方が年間3、4回の校区別協議会を実施し、互いの授業を参観しながら小中学校9年間を見通した「課題改善カリキュラム」の作成に尽力してきました。その一部を紹介いたします。

国語 小中学校で大切にしたいこと：読書活動を充実させて読解力を育てる。

		重点目標（育成したい力）	重点を置く単元・領域・活動	具体的な取組
小 学 校	低 学 年	本を読む楽しさに気づく。興味関心のある本を探して読む	ずっとずっと、大好きだよ スイミー お手紙	<ul style="list-style-type: none"> 自分の好きな本を読み、紹介カードを書き、お話し列車をつくる。 同じ作者のシリーズ本を読んで楽しんだり、学習を振り返ったりする。
	中 学 年	目的に応じていろいろな本を読み、文章を引用したり、要約したりする力を高める。	ちいちゃんのかげおくり もうすぐ雨に 一つの花 ごんぎつね	<ul style="list-style-type: none"> 読んだ本の中から紹介したい本を選び、本の紹介カードを作る。 友だちと紹介し合い、感想文を交換する。
	高 学 年	目的に応じて本を選び、文章の内容を的確におさえて読む。	百年後のふるさとを守る イーハトーブの夢 やまなし	<ul style="list-style-type: none"> 作者や登場人物の生き方を知る。 生き方や考え方が表れている本を比べて読む。 図書館と連携し、結末を言わないブックトークを行う。
中 学 校	幅広いジャンルの本を読みこなす力を育てる	トロッコ、雨二モ負ケズ 走れメロス、海馬	<ul style="list-style-type: none"> 作品紹介のコラムを読む。 作者による作品の比べ読みをする。 	

このようなカリキュラムの作成と児童の中学校訪問、授業体験、部活動見学・体験による交流活動により、小中学校9年間を見通した課題を教員が共有できたり、3校の教員がコミュニケーションを深め、指導体制・方法の相互理解が進んだりしました。また、児童・生徒の理解を深めるとともに、小中学校のスムーズな接続を図ることができました。同時に小中学校の教員同士が気軽に話し合える雰囲気もできてきました。



課題としては打ち合わせ時間の確保、準備や打ち合わせ時間の面で担当教員の負担が大きくなっていることが上げられました。次年度以降もこの課題改善カリキュラムにもとづき、3校の実践が展開されていきます。

平成27年度練馬区生徒作品展

美術科

1年生の作品は「スクラッチグラス」です。プラスチック板の黒い塗料を、ニードルという先の尖った道具で引っ掻く作業は根気が必要です。2年生の作品は「キュービックパズル」です。小さな模様同士が合わさり、そこに偶然出来るデザインが美しい木製パズルです。そして3年生の作品は「立体的な平面構成」です。平面に立体を表すことの難しさと、配色に苦労していましたが、素晴らしい作品が沢山出来ました。



家庭科

1年生は「行事食・地域の料理に挑戦！」のレポートを作成しました。授業では、行事食と郷土料理について学習しました。それらを踏まえ、各家庭で実際に挑戦しました。

2年生は「思い出フォトフレーム」を製作しました。授業で学んだ「なみ縫い・まつり縫い・本返し縫い・半返し縫い・ボタン付け・スナップ付け」を活用しながら製作しました。これらを応用し、最後は刺しゅうにも挑戦し、オリジナルの作品に仕上げました。



3年生は「保育レポート」を作成しました。授業で学んだ幼児の発達・遊びを基に、各自でテーマを設定し、インターネットや本、資料を活用しながらレポートにまとめました。



技術科

技術科は、2年生のみの出品です。展示した作品は、1年生のときに木材加工の授業で作製した木工作品です。板材と角材が用意され、設計図を基にけがき・切断・切削・組み立ての加工をしました。多くの作品の中から、手順通りに作業を行い、学んだ技能を生かした上で、丁寧に仕上げた作品が選ばれました。



平成27年度練馬区小中学校連合書き初め展

1月23日、24日に中村橋の練馬区立美術館にて小中連合書き初め展が行われました。この展覧会では、練馬区全ての小中学校から書き初め作品が出展されます。練馬区立美術館の年間の来場者数の中で、この二日間が一番多いそうです。

毎年、冬休み明けに校内で各クラスの書き初めを展示します。その中から金・銀・銅賞が決められ、金賞の中から区書き初め展へ出展する作品が決まります。大泉学園中学校からは、各学年4名ずつの計12名の作品が出展されました。



一年生芸術鑑賞教室「一人芝居」

一年生 男子生徒

正直、僕は鮭が川で産まれて海で生活することを知りませんでした。けれどそれをリアルに、しかもひとりで行ってくれたので、分かりやすかったし、さすがだなと思いました。僕が一番好きな場面は、うなぎのおじさんが「さすけ」に海の恐ろしさを話す場面です。ただでさえ面白いセリフばかりなのに、それが伊藤さんの迫力のある動きとマッチして、とても良い芝居になっていました。これからもぜひ、ひとり芝居を続けていってください。今日はありがとうございました。



一年生 女子生徒

私は一人芝居を見るのは初めてでした。バイクの音や表現は場面を想像できました。音は本当にバイクの音を流しているようでおもしろかったです。また、はじめの方は、皆に始めるかを問いかけていたので、不思議な気持ちになりました。さけの子を主人公にしているのに、他のさけの子やカワセミなどの言葉を言うところもあって、さけの子だけでなく、全部が主人公という感じがしました。学園中での何もなしで自分の体だけの公演は初めてと聞いてとてもびっくりしました。とてもおもしろくて楽しかったので何回も公演しているのかと思いました。



学園中卒業生 大相撲幕下優勝！！

本校の平成十九年度の卒業生、栃丸 正典さんが大相撲一月場所において六勝一敗の成績で見事、幕下での優勝を果たしました。この快挙に先生方も大騒ぎです。

栃丸さんは、在学中に本校ではサッカー部に所属し、中体連登録をして相撲の大会に出場していたそうです。また何かの機会にぜひインタビューして詳細を伝えたいと思います。